

資料

「小さな村の情報化による地域おこし」

「心安らく 美しい夢の ITタウン」

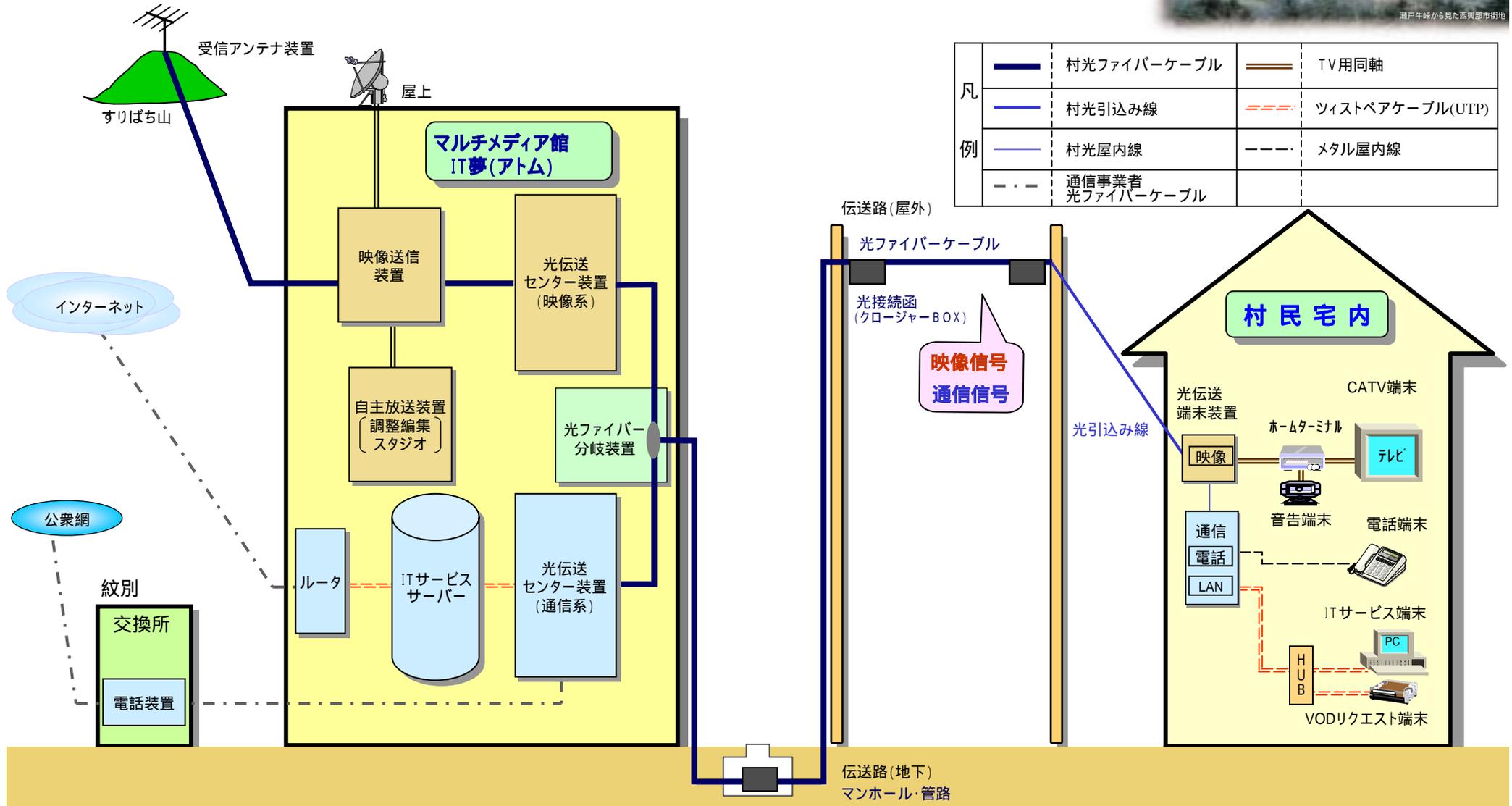
(第3期総合計画の村づくりテーマ)



北海道西興部村

企画課 調査情報係長 日下忠之

光ファイバー網 伝送設備 (F T T H方式) の構成 (その 1)



FTTH方式 (FiberToTheHome)

光ファイバーケーブルを各家庭まで直接引き込み、動画像などの大容量情報を送受信可能にする全光化通信システムをいいます。
 西興部村の光CATV網は、映像信号と通信信号の二種類の光信号を波長多重化して、1心の光ファイバーで伝送しています。
 村内のLANは上り・下りとも10 Mb/sの伝送速度での通信ができ、CATV設備は、多チャンネル、大容量化に必要な750 MHz帯に対応しています。

ITサービスの概要

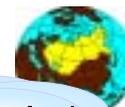


役場・公共施設

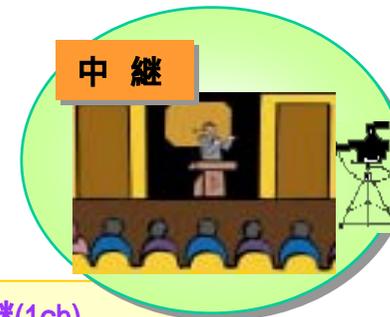
庁舎内LAN
公共施設LAN



すりばち山



インターネット



中継

議会中継(1ch)



村内学校

学校間交流
インターネット

インターネット
村民掲示板
音声告知放送
VODリクエスト
TV放送
NHK・民間放送(6ch)
衛星放送<BS/CS>(16ch)
農業気象情報(1ch)



スタジオ

NCN(1ch)
VOD(7ch)

牛舎遠隔監視
農業経営支援
農業気象情報

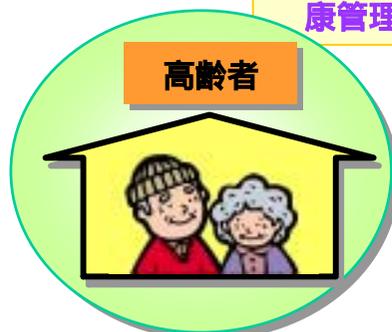


酪農家

農業気象情報
農業経営支援



一般家庭



高齢者

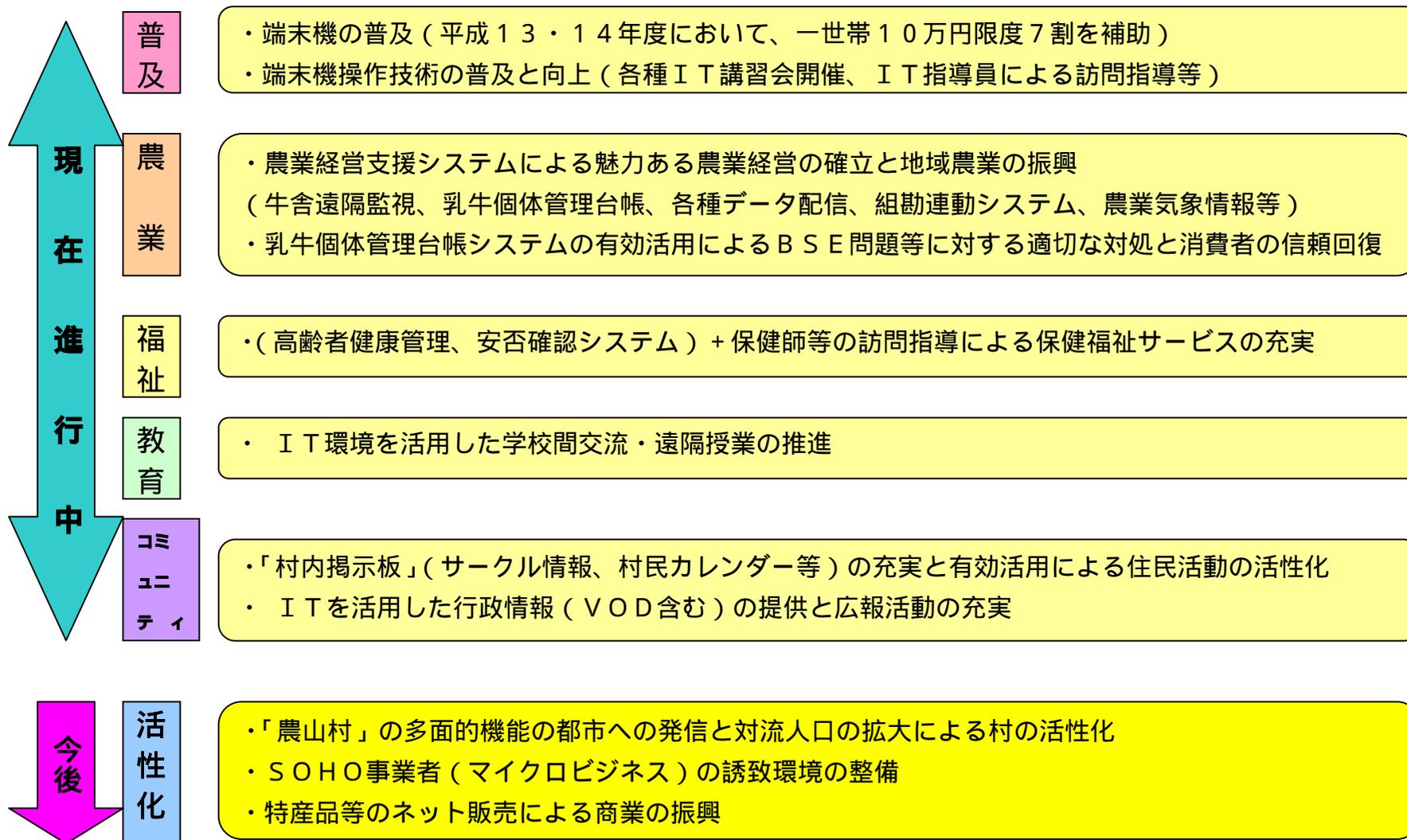
高齢者見守り・在宅健康
管理



農協

村内全てがLANで結ばれています

現在と今後の取り組み



西興部村田園地域マルチメディアモデル整備事業

事業実施概要

第1章 西興部村の情報化に係る基本構想

過疎・高齢化に悩む本村には、在宅医療・福祉サービス体制の充実、気象情報や技術情報の提供による戦略的農業経営の展開、地域に密着したさらなる情報サービスの提供が望まれるところであり、これらの解決策の一手段として高度情報化基盤の整備を図り、「いきいき・すこやか・パワフルタウン」住んでみたい・住んで良かった西興部`を目指して、各種高度情報化施策の展開を推進して行く。

第2章 事業計画区域の範囲

本事業の整備計画区域は全て農業振興地域に指定されており、その区域内を対象に情報センターから集落、加入者宅までを光ケーブルを敷設する FTTH 網を構築する。

また、センターから地域外の各関係機関までは NTT 専用回線及び公衆回線（一般回線）を使用する。

第3章 情報化による農業振興等に係る計画

多様な情報利用機会の充実、情報の蓄積と種々の情報の組み合わせにより経験に頼る農業からの脱却への道を開くとともに、農業後継者の育成や新規参入者の手助けとなるばかりでなく、新しい農業、時流にあった農業振興を導くものである。

本事業では、農業振興に求められるサービスや、保険・福祉サービスの充実など、地域に密着した情報サービスを提供するために高度情報化基盤、各種アプリケーションの整備を行う。

平成9年8月に実施した「西興部村マルチメディア」に係るアンケートからの主な地域要望は次のとおりである。

- ・ 農業に関する情報 ~ 精度の高い気象情報、牛の監視システム、経営支援サービス
個体管理データベース
- ・ 福祉に関する情報 ~ 高齢化に向けた見守りサービス、在宅健康管理サービス
- ・ 教育に関する情報 ~ パソコン導入と教育機会の充実
- ・ コミュニティー情報 ~ インターネット接続、TVの多チャンネル化、VOD リクエスト
- ・ 体験交流情報 ~ マルチメディア館でのマルチ体感、パソコン研修

第4章 情報通信基盤の工事状況（H14.4現在）

1. 工事実施状況 本事業は4ヵ年計画で実施する

主要工事名	工事内容	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
実施設計	全体基本設計等	—			
センター系設備工事	情報センター・映像情報系設備		—		
伝送路系設備工事	光ファイバー敷設工事		—		
端末設備系工事	端末設備			—	
サービス設備工事	サービスソフト・総合試験			—	

2. 施設の規模

西興部村内 650ヶ所（公共施設等を含むすべての利用者）

伝送路（幹線架空） 70.2 Km、（光引き込み線） 623ヶ所

マルチメディア館 1, 120㎡（内639㎡は村単）

3. 事業計画のサービス概要

（1）農業振興に係るサービス

農業気象情報サービス（全世帯）

牛舎遠隔監視サービス（20世帯）

家畜台帳データサービス（20世帯）

農業経営支援サービス（20世帯）

（2）農村生活の改善に係るサービス

高齢者福祉サービス（64世帯）

緊急音声告知サービス（全世帯）

自主放送（生放送）サービス（全世帯）

VODサービス（全世帯）

パソコン研修サービス（全世帯）

（3）都市農村交流に係るサービス

村内学校間交流サービス（3校）

コミュニケーションサービス（全世帯）

マルチメディア館体感サービス

第5章 情報通信基盤の利用計画

本事業での 整備システム	情報の利用効果
農業気象情報サービス	既設気象アメダスを利用した、地域特有の気象予報によつて的確な農作業の実施ができる。 (農業の振興)
牛舎遠隔監視サービス	遠隔監視カメラにより自宅から牛舎状況が確認できる外、獣医へ画像を送信して的確なアドバイスを受けることができる。 (農業の振興)
家畜台帳データベースサービス	各種検査結果を直接サーバに配信し、病歴などの個体データと合わせた家畜台帳を作成し、乳牛個体管理の容易化を図ることができる。 (農業の振興)
農家経営支援サービス	クミカンデータ管理、青色申告等への活用により適切な経営管理が可能となる。 (農業の振興)
高齢者福祉サービス	バイタルサインを把握した、適切でロスのない健康指導ができ、また、TV電話、緊急ペンダント、センサー機能を利用して安否の確認ができる。 (福祉の向上)
緊急音声告知サービス	緊急時に確実に防災情報を告知することが可能となる。またFM2波を合わせて送信 (防災対策)
自主放送（生放送）サービス	従来からの自主放送や、スタジオからの生放送によつて、より密着した地域情報の提供が可能となる。また、情報の多様化から全25chの多チャンネル化を実施 (生活の改善)
ビデオ・オン・デマンドサービス	農業の振興や生活の改善に必要な情報を、必要なときにいつでも画像で得ることができる。全7ch (農業の振興)(生活の改善)
村内学校間交流サービス	合同事業の実施も可能となり、学校間のコミュニケーションが図れる。 (地域交流)
コミュニケーションサービス	行政情報や暮らしの情報をお互いに提供でき、地域コミュニケーションのきっかけができる。 (地域交流) またインターネットの利用により西興部地域情報を広く世界へ発信でき、都市住民の声から受ける刺激や、西興部村の環境、特産品等のPRなどをきっかけにした村おこしなど、多くの可能性が期待できる。 (都市農村交流)

第6章費用負担の方法及び資金計画

1. 費用の負担方法

単位：100万円

区 分	金額
国庫補助金	822,600
道補助金	205,600
過疎債	325,000
一般財源	17,800
合計	1,371,000

総事業費～17億(村費分含む)

- ・マルチメディア館IT夢アミューズメントメディアホール建設費(村費)
- ・マルチメディア館IT夢アミューズメント設備費(村費)

第7章 施設等の運営管理者及び運営管理計画

現在同様西興部村企画課が運営管理の総括業務を行う。

また、関連する農業機関、社会福祉協議会などの職員により構成される「マルチメディア推進協議会」や実務担当者による連絡会を設立し、システムの有効活用を図る。

マルチメディア維持費算出一覧表

単位：1000円

収入		支出		
区分	総収入	区分	内容	総経費
マルチ館入館料等	27,000	保守費	伝送路等保守費	18,800
		運営費	マルチ館、電柱供架料等	34,200
村負担	33,000	修繕料	伝送路等システム修繕	7,000
合計	60,000	合計		60,000

第8章 工事の着手及び完了の予定時期

工事の着手 平成11年度
完了予定時期 平成14年度